



2019年度 忠生地区 市政懇談会

次 第

[日時] 2019年10月28日(月) 18:30~20:30

[場所] 忠生市民センター ホール

司会進行： 市民協働推進担当部長 平林 隆彦
忠生地区町内会・自治会連合会 会長 高橋 清人

○連合会長の挨拶

忠生地区町内会・自治会連合会 会長 高橋 清人 (5分)

○市長の挨拶

町田市長 石坂 丈一 (5分)

○職員の紹介

(5分)

○市政懇談会について

(5分)

第1部 地域からの議題に関する意見交換

(55分)

- 1 忠生地域まちづくり「バリューアッププラン」の市次期長期構
想・長期計画・前期実施計画等への位置づけについて 【環境資源部】
- 2 多摩都市モノレール延伸の導入空間となる都道の都市計画決定の
早期実現について 【都市づくり部】
- 3 小田急多摩線延伸と小山田新駅の周辺まちづくり構想早期実現
について 【都市づくり部】
- 4 主要幹線の道路整備等について 【学校教育部】 【道路部】
- 5 防災対策の強化について 【防災安全部】
- 6 境川の洪水浸水対策について 【下水道部】 【防災安全部】

第2部 市政全般に関する意見交換

(40分)

市長からの市政報告

○閉会の挨拶

(5分)

閉会挨拶 忠生地区町内会・自治会連合会 副会長 佐藤 臣一

2019年度 忠生地区 市政懇談会
議事録(要旨)

[日 時] 2019年10月28日 (月) 18:30～20:30

[場 所] 忠生市民センター ホール

[出席者] 石阪市長

防災安全部長 篠崎

環境資源部長 荻原

道路部長 福田

都市づくり部長 神蔵

下水道部長 野田

学校教育部長 北澤

政策経営部広報担当部長 若林

環境資源部循環型施設建設担当部長 田中

市民部市民協働推進担当部長 平林

市民部市民協働推進課担当課長 (地域担当) 西澤

市民部市民協働推進課長 中坪

市民部忠生市民センター長 勝又

市民部市民協働推進課(3名)

忠生地区町内会・自治会連合会会長 ほか35名

司会進行：市民協働推進担当部長

忠生地区町内会・自治会連合会会長

○地区連合会長の挨拶

皆様、こんばんは。今日は市長を初め、お忙しいところ、たくさん部長さん方に来ていただいて、ありがとうございます。

それから、忠生地区町内会・自治会連合会を中心にしまして、今日はたくさんの方が参加していただいて、ありがとうございます。主力が全部そろっている感じでございます。

忠生地区、ある意味で町田市の発展途上地域ではないかということで我々は考えております。したがって、かなりお願いする項目についても盛りだくさんになっていますが、今日は我々の将来に向けた熱い思いを聞いていただき、その中で我々も努力しながら1つでも実現していきたいという思いですので、ひとつよろしく願いいたします。

○市長の挨拶 (町田市長)

皆さん、こんばんは。市長の石阪でございます。お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。

今、高橋会長からお話がありましたとおり、今日の地域からの議題に関する意見交換は、まちづくりそのものの項目ばかり出ています。そういう意味では、この町の未来について語る時間なのかと思います。

今日は別の会議で八王子市の石森市長とお会いしましたが、崖崩れだけで100カ所あって大変だ、やっと避難所を閉められたと言っていました。千葉県はもっとひどいのですが、今日の議題の境川の洪水対策のお話もあります。たまたまと思ったほうが良いと思うのですが、町田市では相原の坂下の水があふれてしまった以外は大きな被害がありませんでした。日本全国、最近、こういうものが多くてどうなのかと思いますが、私たちの町の未来のまちづくりと安全にこれからも努力していきたいと思えます。

2部で少しだけお話をさせていただいて、意見交換の機会をとっていますので、そのときにまたお話をさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

○出席者の紹介

第1部 地域からの議題に関する意見交換

1 忠生地域まちづくり「バリューアッププラン」の市次期長期構想・長期計画・前期実施計画等への位置づけについて

忠生地域のまちづくりについて、特にこれまで発表しています忠生地域でまとめた「バリューアッププラン」に基づき、これまで計画がつけられたものを今度の新しい長期計画、中期計画に盛り込んでいただきたいというお願いです。その中で特に現在、町田リサイクル文化センター周辺で温浴施設と公園の一部が実現しつつありますが、旧埋立地の問題、峠谷の問題が我々の目から見ると手つかずの状態になっているので、具体的に取り込んでいただきたい。その他の全般的なバリューアッププランの実現に向け、次期の計画に盛り込んでいただきたいというお願いです。

【回答】

環境資源部長

まず、「バリューアッププラン」及び「熱回収施設等の周辺施設整備基本構想」に基づく、具体的な整備計画については、2022年度から始まる市の次期長期構想、新長期計画、新前期実施計画及び新都市計画マスタープランに位置づけるために、「町田リサイクル文化センター周辺地域まちづくり協議会」と意見交換を行いながら、市として考え方を整理してまいります。

次に、峠谷最終処分場及び旧埋立地跡地の2022年度から上部公園整備工事を実施することについては、峠谷地区最終処分場を閉鎖するために必要となる工事内容、範囲、工事手順等、2019年度検討を進めているところです。この検討結果を踏まえ、隣接する旧埋立地も含め、2022年度から上部公園整備工事の実施を目指して検討してまいります。

なお、交通公園の早期整備についても、引き続き「町田リサイクル文化センター周辺地域まちづくり協議会」などとの間で協議させていただきます。

《質疑》

根岸町内会

旧埋立地のビン・カン処理施設ですが、建物が現在あって、そこにバリューアッププラン等で交通公園をつくっていただきたいという要望は、ワークショップ等で子どもたちの最優先的な要望だった中で、ぜひ早目にやっていただきたい。下の整備等について、また引っ越ししなければいけないことがあります。できるところから早目に着手することはできないのでしょうか。

環境資源部長

旧埋立地、峠谷と2つの地区の整備の実施年度が明確になっていません。峠谷をどうすれば閉鎖できるのか検討を今進めています。両地区においても、なるべく早期整備ができるように、どういう手順を踏むと早くできるのかも含め、今年度の検討結果によって、いつごろどこからかを明確にさせていただければと考えています。

忠生中央町内会

資源化施設の移転が昨年突然に2025年、2027年と延期されてしまった。事前に我々にも全然連絡がなくて、ある日突然でしたが、今回の2025年並びに2027年になった根拠はあるのですか。相手のあることですから、用地買収等もあると思うのです。用地買収をして、ずっと手続をして建設して、その間にいろいろかかると思うのです。その根拠をお示しいただきたいのです。

環境資源部循環型施設建設担当部長

今、相原地区、上小山田地区と資源化施設を2つ建設する予定で準備を進めています。相原地区については用地交渉という形で相手方がいらっしゃるところですが、難航しているところです。上小山田地区については、道路事業も絡んでおり、用地を持たれている方との交渉が難航しています。相原地区については、現在、測量という形で徐々に動き始めていると報告をさせていただければと思います。

(司会) 地区連合会長

2025年、2027年の問題については、恐らく確たる計画があつてそうしたのではなく、ぜひ実現したい期限であると我々は理解していますので、今後とも着実にやっていただけるようお願いいたします。資源化設備がもし予定されている当地にできなければ、代替案を考えていただく方向でしっかりこの期限をお願いしたいと思ひます。

現在、忠生地区はバリューアッププランの新バージョンを鋭意検討中です。リニアや小田急新駅、モノレール問題等々、この地域において最大の問題である交通問題の解決に向け、大きく忠生地区は動き出していますので、それを入れた中で地域全体としてどうしていったらいいのか、新しい構想を作成中です。なるべく早く市長にも、神蔵部長にもご説明し、実現を図っていきたく思ひますので、その節はまたよろしくお願ひいたします。

2 多摩都市モノレール延伸の導入空間となる都道の都市計画決定の早期実現について

30数年前に家を買ったときからモノレールが来ると話を聞いています。このままでは私が生きていうちに乗れるかどうかです。何とか働きかけを強め、せめて忠生における道路でも計画が早く決まるように市からの積極的な働きかけをお願いしたいと思ひます。最近の情勢を含め、お答え願ひます。

【回答】

都市づくり部長

多摩都市モノレール町田方面延伸につきましては、2019年度中のルートの確定を目指し、現在、東京都と協議を進めております。

導入空間となる道路の都市計画決定につきましても、東京都によってさまざまな観点から検討をいただいているところですが、町田市といたしましては、需要増加につながる沿線のまちづくりを検討しており、今後、東京都に市の考え方を示してまいります。

引き続き、多摩都市モノレール延伸の早期実現のため、本道路計画について東京都と協力し具体化に向けた協議を加速してまいります。

また、「多摩都市モノレール町田方面延伸加速化プロジェクト」は、既に都市計画決定している区間のうち、特に市街化が進み権利関係者が多く、用地取得に多くの時間を要することが想定される区間を対象としております。

当然のことながら、本区間の整備についても、設計や用地取得など、市としても協力できる部分は積極的に協力し、一日も早い整備の実現を目指したいと考えております。

《質疑》

（司会）地区連合会長

モノレールについては、忠生地区において用地取得等の観点から見て一番簡単ではないか。多摩市から町田市に入る部分の道路計画がまだはっきりしていないため、地元の我々は非常にやきもきしている。昨年、多く方の署名を持って都知事に陳情にも参りました。忠生としては、一刻も早くこの道路の都市計画決定が進み、ルートができ、かつ工事のスケジュールも決まっていくなという目に見えた状況が我々としては待ち遠しいので、今後ともよろしくお願いいたします。

3 小田急多摩線延伸と小山田新駅の周辺まちづくり構想早期実現について

小田急線の延伸が決まり、新駅の場所もほぼ決まり、新駅周辺のまちづくりについて、基本的な構想は市に出していただいているが、それから先の具体的なまちづくり構想やまちづくり計画がなかなか進まないとい我々は見えています。新駅ができて、ただ駅だけでは、まちづくりや我々の暮らしが明るくなるものでもありません。しっかりした駅周辺の整備構想、駅に至る交通網の構築が結びつき、初めて新駅ができる意味があると思います。具体的な整備計画について、地元との協議もお願いし、なるべく早くつくっていただきたい。

【回答】

都市づくり部長

2019年5月に公表した「小田急多摩線延伸に関する関係者会議 報告書」は、2016年8月から「小田急多摩線延伸に関する関係者会議」において行ってきた調査、検討の結果を取りまとめたものであり、唐木田・相模原間の2033年までに先行延伸という選択肢もあるという趣旨のものです。したがって、事業実施の有無や路線計画そのものを定めたものではありません。

延伸実現に向けては、今後、さらなる検討の深度化が必要となるため、町田市としては、相模原市を初めとした関係者と連携して取り組みを進めてまいります。

また、小山田バス折返所付近に予定されております新駅周辺のまちづくりにつきましても、「小山田周辺まちづくり構想」にて示したとおり、小田急多摩線の新駅設置と連動し、主体間の適切な役割分担のもと計画的・段階的にまちづくりを進めることが必要と認識しております。

今後も引き続き、地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させ、持続可能なまちを構築するため、地域住民・地権者の皆様や、事業者、市などが実施する主体的な取り組みを連携させ、まちづくりを進めてまいります。

《質疑》

上小山田町内会

今日も神奈川県の浅羽副知事に面会に行ってきました。小田急本社の延伸の担当の部長が小野路に住んでおり、9月に上溝から部下数名と唐木田まで歩きながら構想を重ね、小山田は緑がいっぱいあるので、こんなものができるのではないかと、いろいろなことを話しながら4時間かけて歩いて、周りの状況を考えてくれているようです。

10月31日から1カ月かけて、小山田駅周辺で町田市の所有している土地のボーリング調査を行うそうです。もう1カ所は、相模原の北口のボーリング調査を行うということで小田急と鉄建公団は動き始めていますので、それを踏まえ、机上ばかりではなく、町田市も道路やまちづくり構想等具体的な方策を早目に進めていただかないと、あざみ野駅から新百合ヶ丘駅が30年、町田市の計画でも多摩都市モノレールは32年に町田駅まで完成するという事です。本当にそれが実現できるのか。道路の構想等をここ数年のうちにつくっていただかないと、すぐ10年ぐらいたってしまうので、そこら辺、先手を打ってお願いしたいと思っています。

都市づくり部長

地域の方々がのぼり旗や横断幕、啓発活動を初め、いろいろとご尽力いただいていることに心から感謝を申し上げます。

今お話があったボーリングも、小田急や鉄道運輸機構の単独の動きではなく、町田市、相模原市を初めとした関係者会議が調査を進めているものです。今後検討を深めるための基礎データをしっかりと押さえるためのもので、まだ実際に地面を掘るところまでは至っていませんが、事前の測量等も含めての調査に入らせていただく等、関係者会議で着々と進めさせていただいています。

収支、採算の話はまだ目途が立っていないところですが検討した内容の一つとして、段階的な整備の案もお示しさせていただいたところです。この件については、相模原市の中でもいろいろと議論があります。どのような形で整備を進めていくのかはこれからの話になってくると思いますが、町田市としても、相模原市としっかり連携をとり、地域の方々とどういうまちづくりをしていくのか、お話をさせていただきたいと思っています。

また市街化調整区域における、土地利用につきましては、地区計画の導入をどのように進めていくかの運用指針をここでつくらせていただきました。各地域のまちづくりの協議会の方々とお話をさせていただきながら、運用指針を作っております。今後も、皆様と連携協力を図りながら進めてまいりますので、引き続きよろしく申し上げます。

(司会) 地区連合会長

実際の進捗に際して相互に理解し合い、事実を積み重ねていく形が必要かと思っておりますので、今後とも地元と連絡を密にしておровいしたいと思っております。

4 主要幹線の道路整備等について

都道155号線は一部かなり狭く、非常に交通が不便です。将来、こちらの方面に対する交通量の増加が見込まれる中であって、現在でも狭隘な部分がある155号線の拡張をお願いできないかということです。

それから、防災問題にも絡みますが、小山田小学校が集中豪雨等の土砂災害警報が出た際には避難所になり得ない問題が残っています。裏山の滑りどめの工事はしていただきましたが、まだ正式には土砂災害の警戒区域の標示は外れないということです。昨今の豪雨を考えると、将来的には何とかならないのかとの思いを強くしています。

【回答】

道路部長

「都道155号線の拡幅について」ですが、都道155号線の小山田小学校前は、大型車両同士のすれ違いが困難な場所がございます。車道の拡幅については、昨年（2018年10月29日に）、木島副市長が南多摩東部建設事務所に伺い、小松所長に強く要請してまいりました。引き続き南多摩東部建設事務所に要請を行ってまいります。

学校教育部長

小山田小学校の敷地北側斜面については、2017年度に実施した工事で、約855㎡の斜面に長さ3m杭を512本打ち込み、その杭をワイヤーロープで網目状につなぎ、大きな網で斜面全体を押さえることで崩落防止を図り、2018年度に、土砂災害特別警戒区域（いわゆるレッドゾーン）の指定が解除されました。

小山田小学校敷地北側斜面は、崩落防止の安全対策を実施している区域になりますが、土砂災害警戒区域は、安全対策が講じられているか否かにかかわらず傾斜度や高さ、水平距離から一律に東京都が指定するものであるため、容易に指定を解除することができません。

避難施設につきましては、震災時と水害時で別々に、安全性を考慮し指定されています。小山田小学校につきましては、水害時の避難施設にはなっておりませんが、震災時の避難施設には指定されております。

以上のことから、小山田小学校を移転する、もしくは崩落防止策を済ませた斜面のさらなる造成等を計画する予定はございません。

《質疑》

下小山田町内会

小学校は避難場所というだけです。震災云々は全然関係なく、お年寄りも全員どこが避難場所だというので、小学校は水害のときに避難できないの、どこへ行ったらいいのかという話なのです。水害のときはどうだ、震災のときはどうだ、そんなの全然通用しないです。ましてや今回ともかく避難しなければいけないときに、そんな悠長なことは言っていないのです。そこいらのことを考慮して、どうですかと提案しているのです。

防災安全部長

今のご質疑とずれた回答になってしまうかもしれませんが、確かに避難をしてくださいと呼びかけられた側からすると、地震なのか大雨なのかは関係ないと受け取るのはわかります。国でも災害種別ごとに使える避難施設かどうか、よく見きわめて指定しなさいと言われていています。小山田小学校は校舎のかなりの面積が黄色い枠の中に入ってしまったまま、風水害の際には指定が難しい現状があります。例えば小山小学校や木曾境川小学校は平らの土地で、土砂災害や地震の際は大丈夫ですが、雨の際には浸水想定区域に入ってしまう、国から50cm以上の深さの浸水が想定されるところは風水害の際には避難施設としては指定すべきでないとの考え方が示されているため、市では指定することができません。他にも幾つかありますが、災害種別によって指定を分けざるを得ないところが市内に何カ所かあるのが現状です。

(司会) 地区連合会長

小山田小学校の問題は、児童の安全が最優先ですが、あの地区は避難所が非常に少なく、しかも豪雨等の夜に行ける場所はかなり限られていますので、小学校の裏山の抜本的な改良ができないのか。ある程度段差をつけるというか、回廊みたいにする等、斜面のイエローが消えて警戒ゾーンではなくなることも考えられるのではないかと思います。工事をしたばかりなのはわかりますが、なおかつ警戒ゾーンの中にありますので、さらに改良を加えて警戒ゾーンではなく、安全な避難場所にする案が何とか検討できないものか、ぜひ引き続きご検討をお願いしたいと思います。この場で学校を移転させる、裏山を全部削る等の即答は難しいと思いますが、地域にとって非常に大事な小学校ですし、ぜひ長い目で見て解決する手段がないのか、学校教育部で検討していただきたいと思います。

上小山田町内会

防災安全部長も知っていると思いますが、降雨の際は大善倶楽部や田中谷戸倶楽部を避難施設として指定し、いろいろな物資等は確保していただいています。会合等では話をしていますが、2カ所は20~30人で満杯になってし

まいりますので、付近の方の避難場所と考えています。他の区域から来てもらっても困るということです。

新まちともが来年度までには忠生地区の全小学校を対象として行うことになっていて、小山田小学校も新まちとの会議等々を開いています。大雨が降ったらどうなるのかとの意見がPTA等から出ています。その際は1時から夕方5時まで新まちともを行うのではなく、早目に対応して帰したほうがいいのではないかと。教育委員会とも調整して柔軟性を持って対応していこうと話しています。

都道の関係では、副市長が10月28日に行ってくれた後、12月に入ってから東京都の建設局の総務部長のところへ4～5人で、あと都議会議員3人と一緒に行っているいろいろとお願いしてきました。東京都は今年の4月か5月に10人ぐらいで1回見に来ています。少しは動いてくれるのかという感じはしていますが、測量をやったり、何か目に見えることをやってもらわないと、付近の住民から見ると、また紙に書くだけで終わりかということになってしまうので、測量だけでもきちんとやってもらいたいと思っています。

町田市も東京都と協議して、あそこの道だけでも少し広くなれば、手前の2～3軒の地主の方の立ち退き交渉もうまく進めていただければいいなど。あそこが終わってもう少し先に進むと、東京都が交渉にも来ないと言っています。家が古くなって、建てかえや売却を考えていても、全然交渉に来てくれないと言っていました。交渉は相手がだめだと言ってしまうと、役人さんも人事異動で次から次にかわり、うまく申し送りができない。直接行って交渉した都議会議員もいらっしゃいますが、半年に1回ぐらいは交渉に行ってもらわないと、5年や10年に1回では何も進まないの、よろしく願います。

道路部長

ありがとうございます。今年の1月17日、東京都に行かれたということで感謝を申し上げます。

昨年、我々も副市長と南東建の所長に会っていますが、また今年も改めて副市長と南東建に伺い、その辺の要請を強くしていきたいと思えます。南東建は南東建で本庁からも言われていると思えますので、動きが出てくるかと思えます。そういう形で進めていきたいと思えます。

(司会) 地区連合会長

少しずつでも進んでいることを見たいということですので、今後も引き続きよろしく願います。

4 主要幹線の道路整備等について

(2)は都市計画道路3・4・40号線、これもかなり重要な道路ですが、なかなか全線整備が進まないということで、優先整備路線という形に何とかしてもらえないかというのが1つです。

(3)は根岸交差点から忠生市民センターの前を走っている芝溝街道の部分だけが非常に狭隘で通学道路としても危険があるので、何とか拡幅していただけないかというお願いです。

【回答】

道路部長

(2)

「都市計画道路3・4・40号（町田市宮下小山田苗圃～多摩市）の早期整備について」お答えいたします。

現在、桜台通り（忠生735号線）との交差点から下小山田苗圃付近までの延長約700mの区間については、東京都が事業を進めております。

ご要望にあります下小山田苗圃から多摩市までの区間についての着手時期は未定と伺っております。東京における都市計画道路の整備方針（事業化計画）の次回の策定期間については未定でございますが、計画策定に着手した際は、優先整備の候補路線として検討してまいります。

(3)

「根岸交差点北側道路の拡幅について」お答えいたします。

根岸交差点から馬駟交差点までの道路は、町田市道忠生1248号線になります。2011年9月30日に芝溝街道のつけかえに伴い、東京都から移管を受けております。

道路幅員は約8m～12mであり、西側には路側帯、東側にはガードレールで防護された歩道を設置しております。町田街道付近の一部を除き、歩道の有効幅員は約1.9mとなっております。片側ではありますが、有効で1.5m以上の幅員があるため拡幅は考えておりません。

交通安全対策については、通学路点検での学校やPTAの皆様の意見も参考にしながら、改善を進めてまいります。

《質疑》

根岸町内会

忠生小学校の見守りの会議を行っていますが、特に根岸交差点側、忠生中学校のところは斜めになっておりますので有効幅員があります。交差点から馬駟への右側の部分、忠生中学校の前あたりは広いのですが、それから南の根岸交差点に行くと狭くなっています。一番暗いところがボトルネックになっていまして、反対側を見ると歩道が全くなくて、脇のぎりぎりに民家、ブロックがあり、大型車が来ると安全上問題になる状況があります。

その中で忠生市民センターあたりまで、根岸交差点から馬駈に向かって左側の部分、子どもたちが下校の際に右側通行ができる歩道をつけたスペース、道路幅員が必要だと思っています。見守り会議の中でお母さんたちから要望が出まして、副校長先生も入って校長先生に要望する話になりました。根岸は小学校用地ができない関係もあって、ほとんどの生徒が忠生小学校に通っていますが、根岸町内会と共通事項として忠生の要望としました。

いずれにしても、その部分が特に危ないので、忠生市民センターから根岸の交差点までの有効幅員両側1.5m以上は全面的に歩道が確保できるよう整備していただきたいというのが最低限のお願いです。検討をお願いします。

道路部長

ありがとうございます。私も現場を見ました。根岸の交差点の手前のところだけが非常に狭い状況になっています。用地を買収できればいいのですが、3階建てのアパートがあり、奥側も新築の戸建てが建っている状況です。例えば都市計画道路等の計画線が入っていれば市でも動けますが、拡幅の計画もなく、用地買収して歩道をつくるのはなかなか難しいのが実情です。PTAや学校と今後話し合いをして、どういう形にすれば狭いところが目立つようにできるか。例えば交差点部分の車道をカラー舗装にするとか、ドット線という白い矢印をつけて車に気をつけてもらう施策ができないか、学校や学務課、地元と今後話し合っていきたいと考えています。

(司会) 地区連合会長

いずれにしても、早急な拡幅がすぐにできないことは恐らく地元でもある程度は理解できると思いますが、やはり生身の小学生の安全をどうやって確保するか、少しでもできることは全部やっていくという形でお願いしたいと思います。今後とも地元と相談させていただきながら、学童の安全確保にご尽力いただきたいと思います。よろしくお願いします。

5 防災対策の強化について

(1)は毎回お願いしていますが、私立学校の避難施設としての活用が進まないかということです。これは恐らく市でも努力していただいていると思いますが、昨今の災害の発生を見ると、避難施設自体が非常に狭くなっている。先日の台風19号の際も、忠生市民センターは300人ぐらい避難者が来て、結局、入り切れないので忠生中学校に回ってもらいました。ニュースを見ると、逃げるのが遅い、逃げ方が悪くて水害に巻き込まれて亡くなる方がふえるということです。皆さんの意識が高まりますと、どんどん避難する人がふえます。いかにしっかりと受けとめて設備を整え、安心できる場所を提供できるかが肝心ですが、全般的に見ると不足がちです。したがって、私立学校の避難施

設の指定についても、ぜひまた強い働きかけをお願いしたいと思います。

(2)は食料と飲料水備蓄等の強化充実についてです。今回の台風の災害でも、浄水場がやられて断水になると、途端に水の問題は大きな問題としてのしかかってきます。交通も遮断され、なかなか食料も入らない。したがって、今の3日分という基準を1週間分ぐらいは公的な努力で何とかならないのか。もちろん忠生地区だけの問題ではなく、市全体として取り組みを進めていただけないかということです。

(3)は毎回出ている問題ですが、地震災害や今回のような水の災害も含めて起こった場合、救援物資が来て、それをどうしようかという手順が必ずしもしっかりしていないのではないかという心配がまだ残っています。改善の余地がないのか、防災安全部にご尽力いただけないかということです。

【回答】

防災安全部長

(1)

町田市では、市立小中学校や都立高校等を震災時の避難施設としており、桜美林学園や日大三校に関しましては、避難広場としての利用に関する覚書を締結しております。

避難施設としての利用につきましては、定期的に両校と打ち合わせを実施しており、今月も協議を行いました。公共交通機関が不通になることを想定し、生徒の避難や安全確保等の理由から合意には至っておりません。

今後も、顔の見える関係づくりを継続し、両校に対し働きかけを行ってまいりますので、ご理解をいただければと思います。

(2)

町田市では、大規模災害に備え、町田市地域防災計画に基づき、東京都の想定する避難者数9万2,758人分の3日分の食料とペットボトル飲料水を備蓄しております。4日目以降の食料等の物資につきましては、国が被災地からの要請を待たずに生活に不可欠な物資を緊急輸送する「プッシュ型支援」で対応することになっており、2016年の熊本地震の際には、発災後2日目から「プッシュ型支援」が開始されたとのことです。

また、災害への備えは市民の皆さん1人1人や各ご家庭での備えが重要となってきますので、最低3日分、可能な限り1週間分相当の食料、水、生活必需品などの備蓄をお願いしているところでございます。

生活用水などの確保についてですが、おおむね2kmの距離内に浄水場などの水道施設が「給水拠点」として配置されております。

また、東京都水道局が、耐震化された水道管から直接給水が可能な「応急給水栓」の設置を進めており、2019年度中に全小中学校で整備が完了する予定です。

このような方法で、避難施設に指定している学校施設等において給水を想定しておりますので、避難施設の生活用水の確保を目的とした井戸の設置予定はございません。

(3)

町田市では、大きな災害が発生した際に他自治体等から送られてくる支援物資を、物資集積所である町田市立総合体育館で受け入れ、集中的に保管、在庫管理等を行うこととしております。

町田市と「ヤマト運輸株式会社」との間で、支援物資の在庫管理や各避難施設への輸送体制に係る協定を締結しており、物資集積所から各避難施設へ円滑に支援物資を分配するための体制を確保しております。

また、各避難施設への支援物資輸送について、「日本郵便株式会社」とも協定を締結しております。

各避難施設における、物資の配布方法等につきましては、「町田市町内会・自治会連合会 避難施設運営モデルマニュアル」に記載されている、食料や物資の管理方法や配布ルールなどを参考に、物資が滞ることなく公平に配布ができるよう各避難施設連絡会の中で検討してまいります。

《質疑》

上小山田町内会

この間、小学校の会議があり、応急給水栓の問題について疑問点があったので教えていただきたいのです。水道が停止したら自然落差を考えた応急給水栓からの水の出を考えていらっしゃるのですか。

道路部長

応急給水栓の場合、水道本管が耐震化されていれば、ポンプ場からの水が来ます。

上小山田町内会

ポンプ場が稼働しない場合が問題なのです。自然落差で取り入れた水だけなのか。低いところはいいが、高いところに小学校等があると全然水が来ないのではないかということですが、いかがですか。

道路部長

ポンプ場が稼働しているもとで送ることを考えています。もし大もとのポンプ場がとまってしまった場合、ポンプ場も発電機等がありますが、長時間になればとまってしまう。その場合、確かに高いところから落ちているところは高低差で出ると思うのですが、逆に低いところから高いところはとまってしまおうと思われまます。

上小山田町内会

今回の千葉のように水道が全然使えなくなったときは、自然落差の給水栓しか考えられないのではないかと私は考えたのですが、どうなのでしょう。

道路部長

水道の配水場は大体高いところにあります。町田市であれば尾根や小野路等の高いところにありますので、そこからの自然落差でもかなりの水圧でおりてくると思います。高いところは無理ですが、低いところは水が出てくると思います。

(司会) 地区連合会長

今回の水害でも相当浄水場がとまりました。停電時の浄水場の管理について問題のある箇所もかなり多かったということです。町田市でもぜひチェックしていただき、我々は安心をもらいたいのです。ポンプ機能で浄水場は何日間か動くようになっているか調べて、広報等で流していただけると市民も安心しますので、ご検討をお願いしたいと思います。

最初の桜美林、日大三高等の私立学校に関しては、毎年ずっと協議をいただいているということですが、実際に在校生がおられた場合に非常に活用が難しいのも我々としてはよくわかるわけですが、大学生、高校生を助ける意味もあります。例えば町田工業高校のように、むしろ高校生が助けてくれる面もありますので、何とか知恵を絞って条件つきでも、2次避難所的な利用の可能性があるから協議をすとか、もう一歩進んだ考え方で検討をお願いするとともに、打ち合わせをお願いしたいと思います。

6 境川の洪水浸水対策について

今回の台風でも、境川、鶴見川が相当大きな流出で氾濫の危険があるとニュースで取り上げられました。特に鶴見川や境川もそうですが、下流は非常に浸水の危険があるということで、テレビを見ていても赤くなったり、紫色になったりしていました。したがって、下流が非常に危険なのは我々としても理解しますが、上流であふれば、下流は助かるというのは上流に住む者としては困った問題で、やはり上流、下流を通じて実際に我々が安心して暮らせるようにしていただきたい。

特に東京都は、境川については65mm対応で何年も前に決まっていますが、どうしてそれが進まないか。下流が詰まるからだということでもいつまでたっても解消されないわけですが、上流は上流、下流は下流でそれぞれやるべきことをやれば、もう少し安心して暮らせる川沿いになるのかと思います。特に管轄の問題もありますが、忠生の存在している根岸橋の上流では、極端に

条件が悪くなっているのです。川幅は狭くなり、川底は上げ底になっています。だから、ここからはあふれてもいいと言っているような気がします。そこから辺を何とか改善できる余地、あるいは改善できる知恵と資金がないものかと雨が降るたびに思っていますので、ひとつ市としても改善についてご努力いただきたいと思います。よろしくお願いします。

【回答】

下水道部長

神奈川県等関係機関に対する要請についてお答えします。

境川の根岸橋上流の河川管理者である厚木土木事務所津久井治水センターに、5月23日に訪問し、河川整備の要請を行ってまいりました。

また、町田市より下流の境川の河川管理者である厚木土木事務所東部センターには、7月11日に、境川の最下流部の河川管理者である藤沢土木事務所には、5月30日にそれぞれ訪問し、河川整備の要請を行っております。

そして、対岸の相模原市に、8月21日に訪問し、境川についての情報共有及び意見交換を行ってまいりました。相模原市においても、市民から早期改修について強い要望を受けているということで、毎年、河川改修を早期に進められるよう強く要望しているとのことでした。相模原市とは、密に情報の共有を行い、両市で連携をとって、早期改修を求めていくことを、再確認してきたところでございます。

今後も、早急に、50mm対応の河川に復旧回復させるとともに、境川の根本的・抜本的な整備対策ができるよう神奈川県等関係機関に強く求めてまいります。

防災安全部長

洪水ハザードマップにつきましては、12月に順次、全戸配布する予定で準備しております。

なお、昨年の市政懇談会でもお話しさせていただきましたが、新しいハザードマップに掲載する水深想定を表示につきましては、東京都が公表したものを採用しており、2m以上の表示を、2mから3m、3mから5m、5mから10mの3区分に細分化し、よりわかりやすく表示する予定でございます。

詳細は、お手元の洪水ハザードマップ見本の凡例をごらんください。

《質疑》

(司会) 地区連合会長

ハザードマップについては再来月に全戸配布ということで、しっかりそれを取り込んで避難方法等を検討したいと思います。

境川については、なかなか出口が見えないのは毎回のことですが、境川があ

ふれると相模原もあふれるのかもしれませんが、町田の土手のほうが低いのではないかとみんな思っています。したがって、町田の土手だけを上げるのは難しいのかもしれませんが。いずれにしても、今回の災害は非常に氾濫した河川が多く、境川については基準が引き上げられ、危険が迫っているのが何年も指摘されながら、ずっと整備されていない現実ですので、何とか粘り強い交渉をお願いしたいと思います。

根岸町内会

この要望は人命や財産、生活等に重要にかかわってきますので、連続して毎年度出させていただいていますが、なかなか前進が見られずに残念です。この秋も9月の15号台風、10月の19号台風、何日か前には大雨で、特に15号台風と19号台風は関東地方に上陸し、町田も上陸しました。15号台風の際は、根岸では境川地域で40人ぐらいの方が避難されました。19号は、当センターだけでも178人、下の会議室、多目的室、地域活動室、ホールも使い、入り切れずに100人ほど忠生小学校に避難したと聞き、大変びっくりしています。

まず、忠生市民センターは食料や飲料水は備蓄されているのでしょうか。避難された方が毛布を持って避難されたとのこと。仮に決壊したり長期間になれば家に帰れない状況になりますが、大雨で相当避難者がいたと聞いています。この場所の震災のリスクをしょって避難生活に対応できているのか、お伺いしたいと思います。

それから、根岸の場合、食料や飲料水を高台の淡島神社に運び出しました。大型商業施設のアメリアは、3時半ごろ大雨特別警報が出て、避難準備情報や避難勧告が1時間ぐらい後に出たにもかかわらず、平常どおり営業されていました。地元の消防団が広報に回っていましたが、大型商業施設のお客さんに対する情報提供等は市からされているのでしょうか。何千人という方が雨の中、台風の中、お店に来て買い物をしていましたが、危機管理はどうなっているのでしょうか。

西田スポーツ広場の下に調節池をつくり始めていますが、神奈川県のはなかなか工事が進まない現状を聞いています。調節池ができると、根岸橋から上流は区画整理の護岸工事で50mm対応をして、川底を上げたり盛り土して流量を絞っています。両国橋から上の境川は30mm対応ですが、調節池の完成によって溢水や洪水等の心配はなくなるのでしょうか。

あと、新しくきめの細かいマップができるということでご努力ありがとうございます。昨年、避難行動計画、タイムライン等も行政がつくって検討するとお話がありましたが、策定されたものが入っているマップができるのでしょうか。それを基準に我々の地域の避難行動計画や防災計画に反映したいと思っていますが、その辺はいかがでしょうか。

防災安全部長

まず、備蓄については、市民センターは風水害時の臨時避難施設で長期間の開設を予定しているものではありません。台風の際は臨時避難施設をいつごろからあければいいかわかりますので、開ける前に必要なものを職員が持ってきてお使いいただくようにしています。ちなみに、この近くにある小学校、中学校には1300人分の3日分の備蓄をしまして、長時間避難していなければならない時にはそれをお使いいただくことができます。

次に、大型商業施設のお客様についてですが、避難勧告や避難準備、高齢者に対する情報を出した際には、防災無線だけではなく、必ずエリアメールを出しています。スマートフォンをお持ちで区域内にいれば、すごく大きな音がして伝わるようになっていきます。大型商業施設にいるかどうかを問わず、スマートフォンをお持ちであれば届くはずになっています。同様に大型商業施設の方にも届くことになっていきますので、適切にお客様に対して情報提供されるものだろうと思います。

あと、マップについては大変お待たせして申しわけありませんでした。ぜひごらんいただきたいと思います。タイムラインは行政側でどういう気象情報が出て、この先、何時ごろ、どういう情報が来たら、どういう行動をとろう。そして、皆様にどういう情報を提供するというものを準備しています。昨年お答えしたときに、それを皆様にもわかりやすく、皆様の行動に役立つものを検討したいとお答えしました。

東京都が少し前にマイタイムラインをつくり、お配りできるようにしています。市の窓口でもお配りしています。マップを配る際に、その裏に風水害に備えた必要な情報を載せる記事を用意しています。そこに東京都がお配りしたマイタイムラインよりももう少し易しい基本的なことだけ、こういう時間軸で、各ご家庭でお考えいただき、準備をお願いしますというものを掲載しますので、お配りしましたらぜひ皆様ごらんいただき、あらかじめこういう行動をしようと考えていただきたいと思います。

ちなみに、町田市では、暗くなってから明け方までに大雨が予想される際には、あらかじめ前日の日没前に情報を流して、忠生市民センター等を避難施設として開けるようにしますので、早目の行動ができるようにこちらも対応します。よろしく願いいたします。

下水道部長

西田の件について、調節池ができると、50mmでつくったものを埋めているため、30mmになっているものが取り払えるかということですが、多分これは取り払わないと思います。ただ、実は境川は東京家政学院の近くに本郷・根岸遊水地があります。金森の都営金森第3アパート付近に鶴金遊水地があります。さらに下流で町田市と大和市の境にも旧河川敷を利用して遊水地があ

ります。遊水地と調節池は同じもので、川が氾濫したときに水を入れる場所で、ストックできる貯留量は4万6000m³あります。

西田の件と、境川クリーンセンターが今あるところにも新しく築造する予定で東京都が動いています。さらに、最上流には風間遊水地を神奈川県で調整しています。これを全部足すと3カ所で21万7000m³になりますので、風間遊水地は2021年、東京都施工については2025年度完成予定ですので、その時点では今よりも21万7000m³多くなり、ある程度飲み込めるとは思いますが、これは別の話ですので、河川改修については強く要請していきたいと思えます。

(司会) 地区連合会長

アメリカは非常にお客様が多いし、浸水区域になっていますので、業者にどういう体制になっているか、ご指導等をぜひしていただければと思います。お客は当該地域の人ばかりですので、ある程度の協力はしていただけるのではないかと期待しています。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

それでは、幾つか市政報告をさせていただきますが、その前に備蓄の話をしてしたいと思います。

実は多摩市と町田市共同で、各小学校、中学校に何人避難してくるか調査し、今年の5月にまとまりました。先ほどの9万2700人は全部の数字で、忠生小学校は何人、忠生中学校は何人と住宅の形と築年数で計算をし直しました。地域にどれだけ一戸建てがあり、どれだけ集合住宅、RCやSRCができていないか全部計算し直しました。

玉川学園の町田第五小学校は、一般的には700人ですが、約3800人が地震の際に避難をしてくる計算になりました。境川団地にある木曾中学校は80人でした。なぜかという、倒れない集合住宅に住んでいるので、1人畳1畳や2畳の場所には避難してこないの80人しか来ませんが、定員は700人です。町田第五小学校も700人ですが、3800人来て入り切れない計算になりました。忠生地域は、定員700人で忠生中学校が約900人、忠生小学校は200人です。

では、町田第五小学校は教室も使って1400人、あと2400人はどこへ行くのか。私立学校の玉川学園にお願いしたところ、子どもたちが帰れない状況で子どもたちの安全確保の問題があり応じられない。桜美林と日大三高と同じ答えをいただき、今のところ、2000人は行くところがない状況です。忠生小学校と忠生中学校は両方足して1100人で、1400人のキャパシティーの中でおさめます。2つの学校で移動してもらえば何とかかなりありますが、ひどいところはそういうところもあります。

したがって、備蓄も、4月、5月に命令してまだ防災安全部から答えが来ませんが、備蓄の配分計画を今変えています。町田第五小学校は最低でも1500人分ぐらいの備蓄をして、しかも輸送計画もつくらないとどうにもならない。といって木曽中学校は80人しか来ないのに1000人分送っても仕方がないので、どうするのか等、今つくり直し作業をしています。つまり、東京都は一律に1避難所は600人、700人で計算しなさいとしているが、実際にやってみたら80人のところも3000人のところもあるのです。1個1個計算したほうがいいのかというのでやっていますが、町田市と多摩市以外はこの計算をしていませんので、他市の市民はこの事実を知らないと思います。食料と備蓄の再配分計画を今やっている最中です。

それから、先ほど学校を移転しろと厳しいお話のあった小山田小学校ですが、実は同じように大雨のときに避難所にできないところが7～8校あり、この辺では小山小学校は避難所になっていません。地震のときはここに来てください、水害のときはここに来てはだめですと説明しています。鶴間小学校も堺中学校も同様に境川の氾濫があります。南つくし野小学校、木曽境川小学校も雨のときは避難施設ではなく、地震のときは来てくださいという言い方をしています。引っ越すのは難しいので、小山田小学校については何らかの対策をしなければいけません。小山田小学校の裏山の土量が非常に多く、実際にはなかなか難しい状況です。

実は忠生の場合、この町の骨格づくりの議論が非常に多いので時間がかかるのです。それから、防災についても非常に大きな問題を抱えています。交通安全で言っても、根岸の交差点から市民センターへ上がるところも、大型が来たら巻き込まれてしまいそうところが結構あります。しかも、ここでの回答もゼロ回答が多いのです。今すぐできないものをできますと答えられないので、この時間になってしまうのかと思います。それだけシビアな問題を抱えている地域なのだということはよくわかります。

1～2件だけ報告をします。保育園の関係ですが、保育所の待機児童は今年は127人で、去年より20人ぐらい減りました。ほとんどゼロ、1、2歳の3年部分で、3歳から上はいませんので、待機児童と言えばゼロ、1、2歳だと頭に置いていただいて結構です。今年と来年で150人ぐらい増やそうという計画です。ただ、127人の待機児童で150人増やしても、解消される保証がないのがいつものパターンですが、一応再来年解消されるということでお話をさせていただきます。

10月から3歳から上の幼稚園や保育園は無償になりました。ベビーシッターとか昔で言う無認可も無償になりました。したがって、まだ数字が出てきていませんが、預ける人が増えているかもしれません。12月に入るところに来年の入所の受け付けが始まりますので、来月末から12月になると動向がわかります。

あるいは無認可も無償で、市長会は反対していましたが、消費税を上げるのだから保育園は無償だと短絡的に全部無償になってしまったのです。本当はちゃんとしたところでないといけないとだめですと言ってほしかったのですが、それが待機児童の増加につながるのではないかと今懸念していますので、再来年解消されるお約束はできないのですが、そういうつもりで整備をしています。

それから、特別養護老人ホームは忠生地域、相原地域、小山地域の皆さんにもご理解をいただき、10年の間に約1,000人分の定員を増やしました。特別養護老人ホームは介護付き有料老人ホームとは違い、入居保証金のようなものはありません。特別養護老人ホームは、かなり需要があります。昨年度、要介護3以上の方が入所申し込みをしてから1年以内に入所した市民の割合は9割です。10年前は45%だったので、申し込んだら半年、1年でほとんどの方が入所できる状況になりました。町田市に住んでいると驚かないのですが、町田市には市内に入所できる特別養護老人ホームがあるのです。23区の場合、聞いた話では特別養護老人ホームは、栃木県、群馬県になると言っていました。市内で1年以内に特別養護老人ホームに入所できることは、実は東京都内、三多摩では非常に珍しい状況です。もちろん、青梅市や八王子市は別ですが、立川市より東側の市や23区ではこのような状況にありません。市民の方が市内の特別養護老人ホームに入所できる状況は、地域の方が建設に関してご理解いただいた成果ではないかと思っています。

それから、中学校給食の問題があります。通常中学校給食は、提供に662円かかるものを、保護者には310円負担してもらい提供しています。小山田中学校は今日から今週いっぱい無料で給食を提供し、全員で食べましょうとなっています。来週も申し込んでくださいという意味で、今、中学校給食の試食会をやっています。何とか給食を頼む癖をつけてもらうおうとやっている最中です。

小学校の給食費は、銀行の振り込みや引き落とし、保護者が集める等いろいろなパターンがありましたが、全部銀行になります。保護者が手で集めるのはやめました。しかも来年度から校長先生の私費ではなく、町田市費、公金になります。市の会計課を通して行うことになります。システム改修が大体終わり、来年4月から公金に切りかわります。

野津田公園の話です。観客席を5000席増やし、1万5000席にする工事を今やっています、あと1年4カ月ぐらいかかって終わる予定で順調に行きそうです。とりあえずゼルビアという名前も残すようです。

最後に、今井谷戸から上がった薬師中学校の手前にウェルカムゲートを4月にオープンすることになりました。地場の農産物の販売等を予定していますので、ご期待いただきたいと思います。

以上が報告です。

《質疑》

矢部町内会

6月に集会所施設の整備のガイドブックをいただいて読んで私は非常に腹が立っています。町田市の集会所は260以上あると書いてあり、矢部の会館は神社の中にあるために補助金の対象になっていませんので、260以上の中に入っていないと思うのです。どうして神社の中にあるとだめなのか。町田市の中で矢部と広袴が一番小さい町です。公共用地もなくて神社の中にある建物です。矢部町は忠生村のときからあり、市より長いです。市制60年ですが、矢部は補助金を一切もらえないのです。新築はもちろん、改修工事にも補助金を出すとあり、私は非常に腹が立ちます。260の中に入っているのか、神社の中にあるとどうしてだめなのかをお聞きしたいと思います。

市民部市民協働推進課長

矢部町内会の施設は神社所有の建物だと理解しています。

矢部町内会

神社の中にあるので神社にしていますが、建物自体も町内のみんなの寄附です。矢部町内会としては町内会館として使っています。お祭りも町内で全て行っていますし、365日町内で使っていると思っていますが、どうしてだめなのでしょうか。

市民部市民協働推進課長

使用している方と所有者がどなたかで補助金の対象かどうか判断させていただいています。矢部町内会の区域の中で公共施設用地があり、市で土地を用意できて町内会が町内会館を建設できればよろしいのですが、公共用地もない状況です。神社の中にある建物を使っているのは理解していますが、今の補助制度の中では建物所有者が神社のため対象外となります。

矢部町内会

町内で場所がない場合、必要な場所を市が確保してくれないのですか。根岸は土地をもらいまして、町内会館が2つあります。それに対して矢部は1つもないのです。どうしてこういうことになるのですか。納得できません。場所がなくて神社につくり、神社の所有という形にしていますが、それがだめと言うのなら土地を確保してください。そうすれば、矢部町内会は小さいですが、みんなで寄附で建てられます。建設費も補助金が出て、修繕まで補助金が出ると書いてあります。それに対して全く出ないというのは、特例を設けていただいて、町内会館として使っているのですから、何とか補助金が出るようにしてください。今回、トイレとキッチンの改修工事で100万円かか

りました。矢部町内会は小さいですので、10年以上こつこつためてやっと100万円になって、大工さんは240万円かかると言いましたが、100万円で何とかつくってほしいとお願いして改修工事をしました。何とか補助金が出るような方向で検討していただきたいと思うのですが、どうですか。

市民部市民協働推進課長

使用者と所有者で考えていますが、建物の所有権を神社から町内会に譲渡していただき、町内会で所有していることになれば、市の補助金制度で対応することは可能です。

(司会) 地区連合会長

何か知恵があるかと思いますので、ぜひ協議をよろしくお願いします。

忠生市営住宅管理組合

先ほど遊水地を3つ増やしたとお話がありましたが、それに対して聞いたこともないような言葉で、どのぐらいの水がその遊水地に流れ込むということだったのですか。素人からすると、例えば具体的に東京ドーム何杯分の量がそこに入るのか、それによって水かさが20cm減る、30cm減ると言っていたほうがよほどわかりやすいと思います。もう少し子どもにもわかるデータを集めて説明されたほうが良いと思ったので、よろしくお願いします。

下水道部長

下がる量もありますが、場所によって幅が違うので表現ができません。今日は立米でお話ししましたが、次回もしご質問があったときに、ご納得いただけるかどうかわかりませんが、皆さんにもわかりやすいお答えができるように努力してみます。ありがとうございます。

○閉会の挨拶（忠生地区町内会・自治会連合会副会長）

今日は遅くまでいろいろご意見、市のご回答をいただきましたが、皆さん納得した顔をしていません。今後、市長初め各部長の顔とお名前をしっかり覚えていただき、市に直談判でも結構ですので、納得していない方はぜひお願いします。

今日は長時間にわたり、忠生地区市政懇談会にご参加いただきまして、ありがとうございます。また、市長、ありがとうございます。（拍手）

以上